

COSMOS - コスモス 夢 小宇宙 - (1990年制作)

250×85 cm

CHISATO USUI

2018.1/28(sun) ▶ 2018.4/1(sun)

白井 千里

2018.1/28(日) ▶ 2018.4/1(日)

観覧申込みは電話090-5853-3766まで。入場は無料

【略歴】

- 1950 岐阜県大垣市生まれ
- 1982 米国ボストン 文化芸術交流展 ※83、84年
- 1984 創玄展 特選
中部日本書道展 桜花賞
- 1985 中部女流展 朝日奨励賞(クラブ)
- 国連I.Y.Y.国際青年年国際会議 ルーマニア ブカレスト 文化交流展
- 1988 米国ニューヨーク展
- 1989 ドイツ・スイス・フランス 文化芸術交流展
- 1990 女流5人展 (岐阜県立美術館)
- 1991 米国サンフランシスコ展
TOKYO ART EXPO '91 (晴海埠頭)
- 1994 米国ユタ州ソルトレイクシティ交流展
- 1999 京都工芸・クラフト・アート展
- 2000 日中泰百家藝術大賞 大賞 (中国故宫博物院)
- 2001 美術画報大賞 表現技術賞
イタリヤ年記念芸術作家賞
EXPO ARTEC21 日仏美術の威信「現代と伝統」日仏芸術「現代と威信」賞(クラブ)
(フランス ノリ・リュクセンブルグ宮殿)
- BEAUJOLAIS NOUVEAU ビンテージアート展 (東京フォーラム)
- 2002 美術画報 La Meraviglia展「日伊藝術 驚異と美の響宴」メラヴィリア国際金賞
(イタリア ペニス・ゼノビオ宮殿)
- Exposition d'etiquetes artistiques de Beaujolais Nouveau展
(ノリ・シャルルドゴール空港 ターミナル2F)
- 英国ケント州政府主催 CHISATO USUI 個展 (ケント州ラムズゲート美術館)
- 2003 イタリア ロレタン家 重要文化財作家認定
岐阜県藝術文化奨励賞
EXPO ARTEC 2003 日仏芸術大章受賞 (ルーブル美術館)
- 美術画報 La Meraviglia展「日伊藝術 驚異と美」メラヴィリア国際金賞受賞
三輪造「白川郷」千支作品 ※~15年
- 2004 EXPO ARTEC21 カンヌ国際藝術祭 国際藝術賞
デンマーク藝術世紀フェスティバル「創造の奇跡」展 国際認定作家賞
エヴィアン国際書道展2005 現代書 大賞
書の美的表現展 (ブラハ国立美術館、東洋美術館)
- 2006 京都弁護士会「憲法と人権」揮毫
- 2008 Festival D' Art Franco-Japonais 2008 フランス プロア展 招待作家
- 2010 池田山麓現代美術展「バスバ・ブリマベールと作家たち」(極小美術館)
リネアート 2010 フランダース エクスポ (ベルギー・ゲント)
- 2011 池田山麓現代美術展2011「宇宙の連環として②」(極小美術館)
- 2012 ART EXPO NEW YORK ※13、17年 (マンハッタンピア94)
- 2013 岐阜県芸術文化会議 芸術祭「見たい見せたい美術展」(岐阜シティタワー43)
- 2014 岐阜県代表作家展 (岐阜シティタワー43)
- 2017 岐阜県芸術文化会議 芸術祭で巨大作品「生きる」展示 (岐阜シティタワー43)
- ※その他、国内展をはじめ欧州、米、カナダ、豪州、中国、台湾などで個展

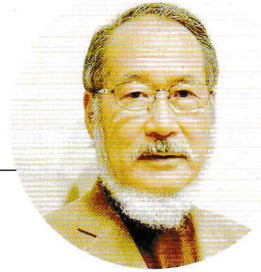


白井 千里

白井千里(秀泉)個展によせて

古川 秀昭

(OKBギャラリーおおがき館長、前岐阜県美術館館長)



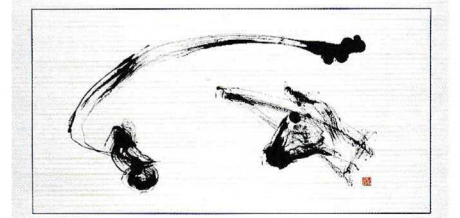
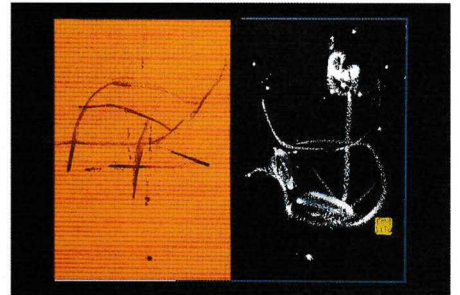
白井家とは千里さんとの前にフィレンツェと関わりのあった声楽家の妹の和子さんと交流があり、私がフィレンツェに2か月滞在した折に、お世話になったような気がしている。千里さんは白井家でのホームパーティーで名ホステス役であった印象がある。その時弟さんがムソルグスキーのピアノ曲「展覧会の絵」をさりげなく弾いた驚きも記憶している。そしてしばらくして千里さんが「書」家であったことに驚くのだ。したがって白井千里さんが書家でない墨象作家と知るのにはさほど昔ではない。2017年、シティ・タワー43の吹抜けホールで千里さんの10メートルもあろうかという大作「生命力」を見て、彼女の健在ぶりを確認し、昨年秋に久しぶりに大垣市蓮華寺の白井家で千里さんの作品をまとめて見た。たぶん誰にも読めないであろう毛筆のアルファベットを含む作品群。「花」「夢」「阿修羅」「COSMOS」「LIKE TO LIKE」...

読んで理解することを初めから期待せず、ただ筆を手にはするものの、躍動する全身の運筆であろう。「ことば」が形に「文字」が形に「こころ」が形に「見え」ないもの」が形に、と自在に画面を走り回る。おそらく千里さん特注の筆で、東洋独自のあの「一回性」になる墨の黒と紙の白が美しい。墨の飛沫、思惟から遠い滲みや擦れ、予期せぬ墨の垂れなどまさに、彼女の主題「宇宙=コスモス」の出現であろう。

海外旅行は150回を超えると、千里さんだから、アルファベット、漢字、ひらがなを「書」に意匠する感性は見事である。それに伴って世界各地での個展やグループ展で密かに自分と向き合わねばならない孤独な思いも人並みではないだろう。

千里さんが敬愛する篠田桃紅さんの言葉「私は壁のシミを隠すぐらいのものは描きますが、シミの方が美しいかも」を絵描きの私も共に味わいたい。

千里さんが今のわが身の力から解き放たれ、様々な現実にも耐え忍ぶ力を得て、さらに遥かなる宇宙に憧れて、新たな一歩をあゆめんことを。



COSMOS - コスモス 小宇宙 -

Contemporary Art 極小美術館

アポイントをとってお越し下さい
090-5853-3766

〒503-2418
岐阜県池田町草深大谷939-10

〈アクセス〉

- JR大垣駅より養老鉄道で20分、美濃本郷駅下車1.8kmケアハウス近く。
- タクシー利用の場合は養老鉄道池野駅下車2.8km、約10分。
- 車の場合、大垣西ICより約15分。R417を北上し美濃本郷交差点左折1.0km。

http://www.geocities.jp/kyokushou_museo/

